

## MCSハートフルA株式会社さいたまセンター

### 第三者委員 報告会議事抄録

日 時 平成 29 年 11 月 30 日（木） 17 時 30 分～19 時 30 分  
場 所 MCSハートフルA株式会社 さいたまセンター  
出席者 阿部和正委員、富田文子委員、渡邊 寛委員  
小松 充 MCS 取締役総務部長  
今野雅彦 MCSハートフルA代表取締役社長（管理者）

#### 1. 開会挨拶 小松MCS取締役

MCSの介護の考え方は、その人に残された能力を最大限に引き出し発揮させること。この考え方を障害者雇用に活かしているのが、MCSハートフルであり、MCSハートフルAである。これまでのセオリーとは違う、新たな雇用の在り方に挑戦するMCSハートフルAの取組みに対して、賛否両論様々ある事と思うが、委員の皆様方の専門性を活かし、大いにご助言いただき、MCSハートフルAをより良い方向に導いていただきたい。



#### 2. 各委員挨拶

阿部委員、富田委員、渡邊委員の順に自己紹介を含め挨拶した。

#### 3. 報告事項

##### ① 事業報告について

第1期（H29.5～8）収支計算書に基づき事業内容を報告。ほぼ当初の予定通り事業所が開設され、月毎にややばらつきはあるものの、就労継続支援A型事業所としてのあるべき姿を表現出来たのではないかと報告がなされた。

これに対して、委員からは、イ.福祉の観点からこれまでとの違いから、戸惑ったことはなかったか、との問いかけと、ロ.今後、一般就労への方向性と、A型での就労継続の方向性と、両方向への取り組みが大切である、との指摘がなされた。

これについては、特例子会社の時代から、清掃グループは就労継続支援A型事業所に極めて近いやり方で雇用管理等行ってきたことから、就労支援センターから相談センターに対応する相手方が変わっても、指導員、支援員の中に大きな戸惑いはないとの認識が報告された。また、スタートから半年が経過して、個別支援計画の見直しを行ったが、相談センターがこの半年間にモニタリングを行ったことが確認できているのは、全体の3分の1程度である現状も報告した。

##### ② 活動内容報告について

業務、研修・訓練等の様子について、資料に基づき報告。

委員からは、重度判定のある利用者に対する指導法について質問があったので、全ての作業につい

て、作業手順書〔マニュアル〕を確認いただき、弊社の工夫を報告した。

### ③ 苦情・相談の内容について

苦情については、これまで特に寄せられてはいないが、指導員や他の利用者の言動についての相談、自身の業務内容又はキャリアアップについての相談等について事例を報告。また、苦情・相談体制の受付ルートについて図表をもとに説明した。

これについて委員からは、管理者までの苦情・相談の受付ルートはあるが、第三者委員に対する連絡方法が明記されていないとの指摘があり、顔写真とメールアドレスを記載して、周知を図ることとなった。

また、それぞれの専門性のある委員が選任されていることから、苦情・相談に限らず、専門性を必要とするような個別相談にも対応したいとの発言があったが、これについては改めて連絡方法を検討することとした。

### ④ その他について

メディカル・ケア・サービスグループの障害者雇用率等、障害者雇用全般、就労継続支援A型事業所を取り巻く現状について資料を使って報告。

来年度から精神障害者が法定雇用率の算定に加わることで、法定雇用率が現状の2.0%から2.2%に上昇することに関連して、多くの事業者・企業から、精神障害者の雇用に関連する要望が多く出されていることを報告した。

## 4. 質疑応答

一通りの説明の後、全般についての質問を求めたところ、委員からイ.利用者の出勤状況について、ロ.利用者の昼食について質問があった。

出勤状況については、突発休は殆どなく、むしろ計画的に有給休暇を取得している様子がうかがえるとしつつも、利用者によって有給休暇の取得にばらつきがあり、取得を促している現状を説明した。

また、昼食については、アンサンブルを担当している利用者については、介護施設で提供される高齢者向けの食事を社員料金で食べているが、利用者によってはおにぎり等を追加で持参する者がある事を説明した。

昼食後の歯磨きについては、施設内においては概ね実施されていると思うが、施設外就労の際には、利用できる洗面所が限られていることなどから、必ずしも徹底されていない現状が報告されたが、歯科検診（年1回）の効果により、意識が高まっていることが報告された。

更に、委員から障害者のグループホーム等から通っている利用者の有無について質問があり、当センターにはグループホーム等で自立して生活している者は今のところおらず、押しなべて家族と同居している現状が報告された。

## 5. まとめ、ご感想

阿部委員 : 第1期の内容について縷々報告を受けて、内容について十分理解できた。第三者委員としての責任を果たすよう、今後も引き続き運営を見守っていききたい。



富田委員 : (営利を目的とする) 株式会社が運営する就労継続支援A型事業所が増える中で、その運営を疑問視する見方が依然としてある。一方で、利用者が成長し、自らの可能性が信じられるような施設となることが、本来の就労継続支援A型事業所の役割であり、使命である。その観点からも、就労継続支援事業所内だけでの就労の継続にとらわれることなく、一般企業への就労を見据えた指導・訓練の実施を強く求めるとともに、特にMCSハートフルAさいたまセンターには模範の就労継続支援A型事業所を目指してほしい。そのために、(自身の) 福祉サービスの経験が活かせるのであれば幸いである。



渡邊委員 : 「働く人を大切に」ということが自分のモットー、信念である。働く人を大切にするからこそ会社が発展し、そこで働く人が働く喜びを感じられると思う。その様な立場で、今後もしっかりと見守り、協力して参りたい。



以上、報告会は終了した。